



## DOCOMO TEAM DANDELION RACING Team Release

### 決勝レポート

**2026/10/10 Rd-9 FUJI SPEEDWAY**

天候：晴れ 気温：22℃ 出走台数：24 台

約 2 ヶ月のインターバルを経て開催される第 7 大会富士スピードウェイ。

ここまで他チームを圧倒しチームランキング首位の DOCOMO TEAM DANDELION RACING と、8 戦 4 勝をあげドライバーチャンピオンに王手をかける太田選手。

タイトル争いも佳境に入る第 9 戦は、チャンピオンを決めにかかりたい太田選手と、それを阻止しようとするライバルの思い交錯するなかスタートを迎えた。

2 番手スタートの太田選手は好スタートを決めた岩佐選手に先行を許し 3 番手でオープニングラップを周回したが、2 周目には岩佐選手を抜き返し先行するフラガ選手を追う展開。10 番手スタートの牧野選手はスタートで 1 ポジション上げ 9 番手、7 周目には 2 台をオーバーテイクし 7 番手まで順位を上げる。

ピットウィンドウオープンの翌周、チームは牧野選手をピットに呼びタイヤ交換を済ませた。ここからさらに上位を目指したい牧野選手だったが、20 周を過ぎたころからペースを上げられず苦しい展開に。

一方の太田選手は、ステイアウトグループとタイヤ交換グループのタイム差を見て 20 周目にピットへ。しかしその翌周にピットインしたフラガ選手をアンダーカットするには至らず、2 番手でフラガ選手を追う。

終盤 8 番手走行の牧野選手は、残り 7 周時点で大きくペースダウン。ここからポジションを落として 12 位でレースを終えることに。

フラガ選手、太田選手、オサリバン選手のトップ 3 で膠着状態のまま終盤を迎える太田選手は、残り 3 周で車に異変を感じるが、何とか 3 番手オサリバン選手をブロックして 2 位でフィニッシュした。

#### 5：牧野任祐 選手 11 位

スタート直後のレースペースを良くすることをテーマに決勝セットを選択したのですが、その影響か、レース後半はとても苦しく、大きくポジションを落とす結果となりました。今日のデータをチームとともに解析し、明日に備えます。

#### 6：太田格之進 選手 2 位

スタートでポジションを落としてしまい、挽回するために序盤でオーバーテイクシステムを長く使うことになったのは痛かったです。そのこともあり、レースペース自体は良かったのですが首位奪還には至りませんでした。

終盤には車のトラブルで、いつ止まってしまってもおかしくない状況でしたが、なんとかオサリバン選手を抑えて 2 位でゴールできたことはラッキーでしたね。

明日は思いっきり走って、優勝でシリーズチャンピオンを決めたいです。